

檜山地区 教育研究大会（上ノ国大会）

- 1 目的 教育のさらなる充実，発展と新たな課題の解明に向け，各学校で積み上げた実践を交流し，互いに磨き合うとともに，新学習指導要領移行期における適正な対応等，学校教育を取り巻く今日的な諸課題にも積極的に目を向け，校長としての職能向上を図る。
- 2 主催 檜山校長会
- 3 後援 北海道教育庁檜山教育局・上ノ国町・檜山管内教育委員会連絡協議会
檜山管内各町教育委員会
- 4 期日 令和元年10月4日（金）・5日（土）
- 5 会場 上ノ国町（総合福祉センター「ジョイ・じょぐら」）
- 6 参加者 檜山校長会 会員（30名）
- 7 日程

- 【1日目】 9時15分 開会式
10時00分 講話（檜山教育局長）
11時15分 分科会
（第1「学校経営」第2「教育課程」第3「生徒指導」）
15時05分 全体会（道中・道小役員による教育情勢報告）

- 【2日目】 9時00分 合同部会（全連小第45回海外教育事情視察団報告）
9時20分 学校別部会（提言発表）
（1）小学校部会（第62回全道小苦小牧大会提言要旨発表及び新学習指導要領全面実施に係る今日的教育課題に関する情報交流・研究協議）
（2）中学校部会（働き方改革における校長の関与に関する提言及び研究協議）
11時10分 閉会式

8 学校経営上の課題別分科会

3つの学校経営上の課題別提言による研究協議を分科会形式で実施した。

第1分科会「学校経営」

『組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方』

提言者：せたな町立北檜山中学校長 古 俣 みきお

- 北檜山中学校における，組織マネジメント・教職員の資質向上に係り，評価改善サイクルの構築や職員スタンダードの意識化をどう図っていくか，取組の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として，学校教育目標の具現化を目指していくことにおいて，社会に開かれた教育課程の意味を再確認し，組織的なマネジメントサイクルの中で検証していくこと，また学校としてのねらいや目的が明確なスタンダードが重要である。今後は「校長の経営方針を教室の隅々まで届かせる」学校経営の重要性について認識を深めた。

第2分科会「教育課程」

『魅力ある学校経営に生かす創意工夫ある教育課程と校長の在り方』

提言者：乙部町立明和小学校長 買 手 郁 史

- 乙部町校長会として，町内各校共通した教育課程上の実践事項や課題について，3つの視点を基にしたグラウンドデザイン作成や学校間連携に係る提言に基づいて，各町・各校の特色を生かした教育課程，教育活動の整備・工夫について，実態交流を行った。要点として，グラウンドデザインを校長が中心となり，全教職員と協働作成することが重要である。今後は，「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念」の共有を目指し，保護者や地域の方との様々な連携を推進していくことの重要性について認識を深めた。

第3分科会「生徒指導」

『9年間を見通した生徒指導と校長の在り方』

提言者：江差町立江差北中学校長 太多 弘之

- 江差町校長会として、小中連携教育の推進に係り、江差中学校区のトライアングルサポートと江差北中学校区の小中一貫教育のこれまでの取組の概要と成果・課題についての提言をもとに、小中連携に係る各校の実態について交流した。要点として、生徒指導の機能を生かし、学習指導と関連付けて子どもの自己有用感、学校への所属感といった意識を高めることが重要である。今後は、例えば校則的な面において逆転現象が起こらないよう管理職のリーダーシップの下、小中の教職員が、交流・協議できる関係をつくっていくことの重要性について認識を深めた。

9 道小・道中教育情勢報告

今年度半期における国及び道教委の教育行政情報について、道中・道小役員による説明・報告を通して、今後の教育の動向等についての理解・認識を深めた。

北海道中学校長会長 新 沼 潔 氏
北海道小学校長会対策部副部長 松 村 隆 志 氏
北海道中学校長会研修部幹事 三 浦 英 悟 氏

主な説明情報

- (1) 新学習指導要領の実施に関わって（小学校英語の教科化、中学校との連携）
- (2) スマートフォン等の持ち込みに関わって（学校側が留意すべき課題の明確化）
- (3) 日本の学力に関わって（義務教育段階での学力とその後の状況の変化）
- (4) 学校における働き方改革に関わって（情報交流と共有の重要性、「留守番電話」システム）
- (5) 教員採用試験に関わって（若者の就職についての判断基準、倍率低下の実態）
- (6) 夜間中学校に関わって（不登校等児童生徒に対する就学機会の確保）

10 合同部会

『全連小第45回海外教育事情視察団報告』

報告者：今金町立今金小学校長 米 田 昌

- ニュージーランドの教育概要に関わって、義務教育期間、若者の現状と課題、学習指導要領、教育の姿勢等について説明した後、訪問した3校の学校視察の様子について具体的な紹介があった。

11 学校別部会

(1) 小学校部会

第62回道小教育研究若小牧大会第6分科会「健やかな体」分科会提言要旨発表と新学習指導要領全面実施に係る教育課題の進捗について、プログラミング教育、学習評価、不登校、働き方改革を視点に交流した。

- ① プログラミング教育の取組について
町教委との連携の仕方、教職員研修、予算要望について等。
- ② 学習評価の取組について
道徳科の所見に役立てるドロップダウンリストについて等。
- ③ 不登校への対応について
スパンを定めた電話連絡、家庭訪問、保護者面談という対応について等。
- ④ 働き方改革に向けた取組について
分掌組織や業務内容の見直し、学校行事のスリム化、タイムカード等を活用した勤務時間管理、教職員の勤務実態の保護者や地域への発信について等。

(2) 中学校部会

働き方改革における校長の関与についての今金中学校長による提言に基づき、部活動の指導体制、会議のペーパーレス化、教育条件の変革、教職員の意識改革等について、現状と課題について交流した。道のアクションプランの目標達成に向けた教職員の資質向上と働き方を根本的に変革していくことについて、校長間の連携・強化の重要性について認識を深めた。